

雪氷写真館④ 新潟県魚沼地方の昔話に登場する雪形/
Yukigata in traditional tales of Uonuma, Niigata prefecture



図 1 八海山の「田掻き馬」。撮影：十日町枯木又。



図 2 中ノ岳の「鷹匠」。撮影：六日町八箇峠。

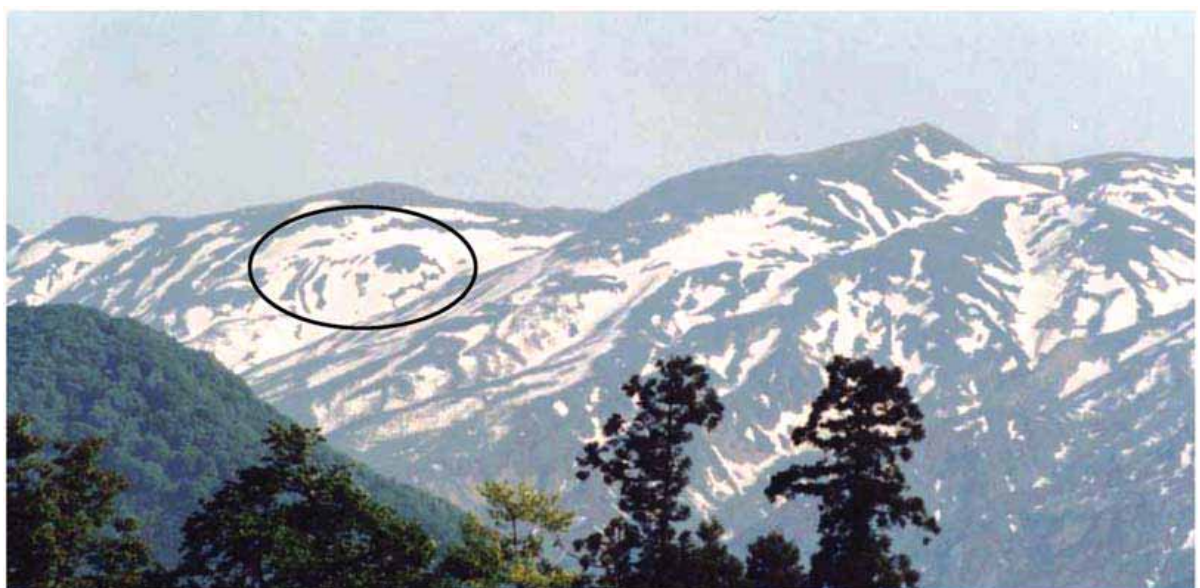


図 3 牛ヶ岳の「黒牛」。黒牛とそれを眺める子供と老婆。撮影：六日町新堀新田。

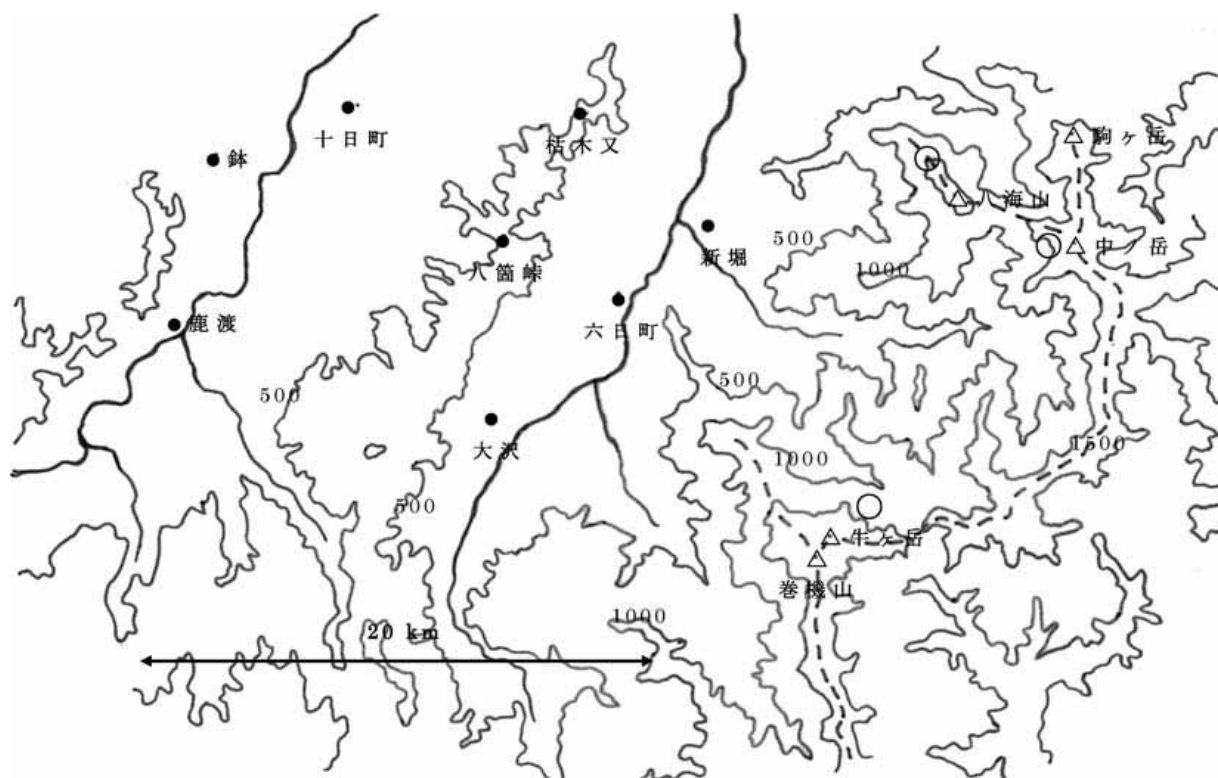


図 4 雪形の出現する場所（白丸）と撮影及び言伝えのある場所（黒丸）。松之山は十日町の西南西 15 km.

新潟県魚沼地方の昔話に登場する雪形

新潟県魚沼地方には多くの雪形がある。ここでは「越後の国雪の伝説」(鈴木直, 正 1942, 続 1943, 拾遺 1949) に収められた昔話に登場する雪形を紹介する。

八海の放れ駒：昔、松之山（十日町市）に与作という怠け者がいた。この地方では、3月3日は休日で働いてはいけない日とされていたが、与作は馬を出し田搔かきを始めた。休みに働かされた馬は動こうとせず、与作が馬の尻を引っ叩くと、大きくいなき空中に舞上がった。馬は八海山まで来るとその周りを回り始め、与作もその後を追った。以来、雪融けの季節には八海山に馬と与作の姿をした雪形が現れる。十日町の枯木又や鉢にも同様の伝承（休日は6月6日）があり、図1の雪形「田搔き馬」がこの昔話の雪形と考えられる。

鷹匠：松之山の昔話。ある大名が鷹狩を行った。前日、夜遊びが過ぎた若い鷹匠は、ことごとく鷹狩に失敗し、八海山に追放された。以来、この山の斜面には鷹を持った鷹匠の姿が現れるようになったという。津南町鹿渡では、拳に鷹を留まらせた少年の雪形「おたかもち」が中ノ岳の山腹に現れると言われており、図2の雪形が鷹匠と思われる。

牛女：小川未明の童話に「牛女」(1919年)がある。昔、ある村に耳の不自由な大女が幼い男の子と暮らしていた。女は力持ちで何時も黒い着物を着ており、牛女と呼ばれていた。牛女は幼子をいたく可愛がっていたが、病にかかりなくなった。翌年から西の山に牛女に似た雪形が現れるようになった。その子が成長し他国に出ると、牛女の雪形も現れなくなった。何年か後、成功したその子は村に戻り、りんご園を拓いた。しかし収穫期になると、何故か実が落ちた。母の恩を忘れていたことに気付いた子は盛大な供養をした。すると、何年かぶりに牛女の雪形が現れ、果物も立派に実るようになった。「雪の伝説」にも残雪伝説として同じ内容の牛女の話が収められており、付記に中越地方に伝わる話、牛女の雪形は牛ヶ岳に現れると記されている。この説が正しいとすると、図3の雪形「黒牛」が牛女の雪形に当たると考えられる。